

2007年 大会記録

国際

◇デーブ・シュルツ国際大会（2月8～10日、米国・コロラドスプリングズ）

《男子フリースタイル》▼55kg級 富田和秀（大東大）＝3位、▼60kg級 湯元健一（日体大）＝四失、▼66kg級 佐藤吏（早大）＝四失、▼66kg級 横山太（日体大）＝四失、▼66kg級 青山久志（東洋大）＝二失、▼74kg級 工藤豪己（日大）＝二失、▼74kg級 大月葵斐（早大）＝五失、▼84kg級 磯川孝生（拓大）＝三失、▼84kg級 門間順輝（日体大）＝三失、▼96kg級 東誠次（立命館大）＝二失、▼120kg級 荒木田進謙（専大）＝三失

《男子グレコローマン》▼55kg級 長谷川恒平（青山学院大）＝二失、▼55kg級 峯村亮（神奈川大）＝三失、▼60kg級 岩崎健太（オールホンダ）＝四失、▼60kg級 北岡秀王（日体大）＝5位、▼66kg級 藤山慎平（日体大）＝二失、▼66kg級 板倉史也（青山学院大）＝六失、▼74kg級 小枝正典（日体大）＝四失、▼96kg級 麻生将秋（拓大）＝四失、▼120kg級 安田伊織（早大）＝5位

◇アクロポリス国際大会＝男子グレコローマン（2月24～25日、ギリシャ・アテネ）

▼55kg級 峯村亮（神奈川大）＝優勝、▼60kg級 松本隆太郎（日体大）＝二失、▼66kg級 清水博之（自衛隊）＝二失

◇ヤシャ・ドク国際大会＝男子フリースタイル（3月3～4日、トルコ・アンカラ）

▼55kg級 松永共広（ALSOK 総合警備保障）＝優勝、▼55kg級 田岡秀規（自衛隊）＝2位、▼60kg級 井上謙二（自衛隊）＝3位、▼60kg級 湯元健一（日体大）＝9位、▼66kg級 小島豪臣（周南システム産業）＝5位、▼66kg級 米満達弘（拓大）＝2位、▼74kg級 長島和幸（クリナップ）＝一失、▼84kg級 鈴木豊（自衛隊）＝二失

◇クリッパン女子国際大会（3月3～4日、スウェーデン・クリッパン）

《シニア・ジュニア》▼48kg級 舟田亜理紗（富山・富山一高）＝14位、服部可奈（三重・四日市四郷高）＝13位、内田奈美（埼玉・埼玉栄高）＝8位、野中千尋（埼玉・埼玉栄高）＝10位、▼51kg級 鈴木幸子（栃木・壬生高）＝2位、清水愛（埼玉・埼玉栄高）＝優勝、道祖土祥子（埼玉・埼玉栄高）＝13位、▼55kg級 津田香耶（東京・安部学院高）＝18位、▼59kg級 小川由香里（富山・富山一高）＝12位、▼63kg級 渡部沙織（福島・田島高）＝12位、▼67kg級 宇野杏奈（三重・四日市四郷高）＝13位、平恵実（大

阪・堺女高) = 12 位

《カデット》▼40kg 級 阿部千波 (茨城・水戸市スポーツ少年団) = 優勝、▼43kg 級 長沼美香 (岐阜・岐阜工高) = 2 位、早見なつみ (福岡・北九州倶楽部) = 4 位、荒川早紀恵 (埼玉・花咲徳栄高) = 3 位、鈴木美織 (千葉・松戸ジュニア) = 優勝、▼46kg 級 小柳絵里 (東京・安部学院高) = 2 位、入江ゆき (福岡・北九州倶楽部) = 優勝、▼49kg 級 杉本恵 (山形・山形商高) = 4 位、▼52kg 級 寺尾唯 (静岡・焼津中央高) = 4 位、小山夕希子 (大阪・堺女高) = 予選敗退、鈴木綾乃 (東京・安部学院高) = 予選敗退、▼56kg 級 佐藤喜歌 (静岡・焼津ク) = 予選敗退、石塚真野 (静岡・焼津ク) = 予選敗退、▼60kg 級 新井千明 (群馬・富岡実高) = 優勝、立光志織 (東京・安部学院高) = 予選敗退、▼65kg 級 白嶺美里 (千葉・GOLDEN STAR) = 予選敗退

◇ハンガリー・オープン=男子グレコローマン (3月10~11日、ハンガリー・ソンバ

トヘイ)

▼55kg 級 峯村亮 (神奈川大) = 棄権、▼60kg 級 松本隆太郎 (日体大) = 25 位、▼66kg 級 清水博之 (自衛隊) = 18 位

◇ワールドカップ=女子 (3月22~23日、ロシア・クラスノヤルスク)

2 位

予選 1 回戦 日本○ [6 - 1] ●ベラルーシ

予選 2 回戦 日本○ [6 - 1] ●ドイツ

予選 3 回戦 B Y E

決 勝 日本● [1 - 6] ○中国

《個人順位》▼48kg 級 甲斐友梨 (中京女大) = 優勝、▼51kg 級 服部担子 (中京女大大学院) = 3 位、▼55kg 級 松川知華子 (日大) = 4 位、▼59kg 級 山名慧 (中京女大) = 2 位、▼63kg 級 西牧未央 (中京女大) = 2 位、▼67kg 級 井上佳子 (愛知・至学館高) = 4 位、▼72kg 級 新海真美 (中京女大) = 7 位

◇アジア選手権 (5月8~13日、キルギス・ビシュケク)

《男子フリースタイル》▼55kg 級 齋藤将士 (警視庁) = 優勝、▼60kg 級 大館信也 (自衛隊) = 2 位、▼66kg 級 池松和彦 (K-POWERS) = 5 位、▼74kg 級 長島和幸 (クリナップ) = 5 位、▼84kg 級 松本真也 (警視庁) = 10 位、▼96kg 級 米山祥嗣 (K-POWERS) = 7 位、▼120kg 級 田中章仁 (FEG) = 8 位

《男子グレコローマン》▼55kg 級 峯村亮 (神奈川大) = 5 位、▼60kg 級 松本隆太

郎（日体大）＝5位、▼66kg級 清水博之（自衛隊）＝5位、▼74kg級 倉谷修平（日体大）＝10位、▼84kg級 太田充洋（大分・津久見高教）＝5位、▼96kg級 加藤賢三（自衛隊）＝9位、▼120kg級 新庄寛和（自衛隊）＝8位

《女子》▼48kg級 伊調千春（ALSOK総合警備保障）＝計量失格、▼51kg級 柴田瑞穂（中京女大）＝2位、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK総合警備保障）＝優勝、▼59kg級 山名慧（中京女大）＝3位、▼63kg級 伊調馨（ALSOK総合警備保障）＝9位、▼67kg級 新海真美（中京女大）＝3位、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）＝優勝

◇アジア・ジュニア選手権（7月6～8日、フィリピン・マニラ）

《男子フリースタイル》▼50kg級 守田陽（福岡・三井高）＝3位、▼55kg級 守田泰弘（日体大）＝優勝、▼60kg級 紋谷哲平（日大）＝優勝、▼66kg級 志土地翔太（日体大）＝5位、▼74kg級 鎌田学（中京学院大）＝2位、▼84kg級 本田博士（中大）＝7位、▼96kg級 馬場祐太郎（専大）＝7位、▼120kg級 高林努（日本文理大）＝7位

《男子グレコローマン》▼50kg級 梶雅晴（青山学院大）＝3位、▼55kg級 尾形翼（日体大）＝5位、▼60kg級 横山巧（日体大）＝5位、▼66kg級 柴田慎吾（日体大）＝7位、▼74kg級 上迫博仁（専大）＝7位、▼84kg級 伊藤諒（自衛隊）＝5位、▼96kg級 近田真基（立命館大）＝3位、▼120kg級 河野隆太（青山学院大）＝5位

《女子》▼44kg級 坂井のりこ（中京女大）＝2位、▼48kg級 西のどか（早大）＝優勝、▼51kg級 大山礼佳（愛知・至学館高）＝5位、▼55kg級 国枝美香（同志社大）＝優勝、▼59kg級 梶田瑞華（中京女大）＝優勝、▼63kg級 高橋海里奈（早大）＝2位、▼67kg級 梶本千晶（関大）＝5位、▼72kg級 宇野杏奈（三重・四日市四郷高）＝4位

◇カルトジア・エテ・バラバジック国際大会＝男子グレコローマン（7月14日、グルジア・トビリシ）

▼66kg級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）＝一失、▼66kg級 藤山慎平（日体大大学院）＝一失、▼84kg級 松本慎吾（一宮運輸）＝棄権

◇ダン・コロフ国際大会＝男子フリースタイル（8月3日、ブルガリア・ソフィア）

▼55kg級 湯元進一（自衛隊）＝優勝、▼60kg級 湯元健一（日体大）＝棄権、▼66kg級 鈴木崇之（警視庁）＝5位、▼74kg級 萱森浩輝（新潟・新潟県央工高教）＝12位、▼84kg級 鈴木豊（自衛隊）＝8位、▼96kg級 小平清貴（警視庁）＝11位、▼120kg

級 田中章仁 (F E G) = 5 位

◇ニコラ・ペトロフ国際大会=男子グレコローマン (8月4日、ブルガリア・ソフィ

ア)

▼60kg級 豊田雅俊 (警視庁) = 11 位、▼60kg級 笹本睦 (ALSOK総合警備保障) = 10 位、▼66kg級 飯室雅樹 (自衛隊) = 11 位、▼66kg級 藤山慎平 (日体大助手) = 10 位、▼74kg級 鶴巻宰 (自衛隊) = 5 位、▼84kg級 松本慎吾 (一宮運輸) = 3 位、▼96kg級 加藤賢三 (自衛隊) = 19 位

◇アジア・カデット選手権 (8月10~12日、台湾・台中)

《男子フリースタイル》▼42kg級 朝比奈健人 (千葉・野田一中) = 5 位、▼46kg級 森下史崇 (茨城・霞ヶ浦高) = 3 位、▼50kg級 山内拓真 (青森・光星学院高) = 優勝、▼54kg級 小石原拓馬 (京都・網野高) = 8 位、▼58kg級 田中幸太郎 (京都・八幡高) = 8 位、▼63kg級 有島義弘 (鹿児島・樟南高) = 3 位、▼69kg級 嶋田裕大 (青森・青森商高) = 9 位、▼76kg級 高杉遼介 (新潟・新潟県央工高) = 3 位、▼85kg級 亀井竜昇 (大分・日本文理大付高) = 5 位、▼100kg級 山本竜司 (静岡・飛龍高) = 3 位

《男子グレコローマン》▼42kg級 橋本幸太郎 (山梨・北杜高) = 5 位、▼46kg級 石井伴直 (静岡・稲取高) = 5 位、▼50kg級 小千田星真 (新潟・白根高) = 8 位、▼54kg級 川村悠人 (奈良・大和広陵高) = 3 位、▼58kg級 井上貴尋 (兵庫・育英高) = 5 位、▼63kg級 佐藤保孝 (静岡・焼津水産高) = 4 位、▼69kg級 音泉秀幸 (香川・多度津工高) = 8 位、▼76kg級 小森大祐 (福岡・北九州高) = 5 位、▼85kg級 敦賀屋大一郎 (秋田・明桜高) = 5 位、▼100kg級 金沢勝利 (岩手・種市高) = 7 位

《女子》▼38kg級 阿部千波 (茨城・水戸市少年団) = 優勝、▼40kg級 植野さくら (京都・網野高) = 優勝、▼43kg級 長沼美香 (岐阜・岐阜工高) = 優勝、▼46kg級 明尾弥紀 (京都・網野高) = 優勝、▼49kg級 堀内優 (京都・網野高) = 優勝、▼52kg級 鈴木綾乃 (東京・安部学院高) = 優勝、▼56kg級 伊藤友莉香 (京都・網野高) = 優勝、▼60kg級 佐藤文香 (愛知・至学館高) = 優勝、▼65kg級 歌田圭純 (東京・安部学院高) = 2 位、▼70kg級 飯島千晶 (東京・安部学院高) = 優勝

◇ピトラシンスキ国際大会=男子グレコローマン (8月17~18日、ポーランド・ワル

シャワ)

▼55kg級 長谷川恒平 (福一漁業) = 5 位

◇世界ジュニア選手権 (8月21~26日、中国・北京)

《男子フリースタイル》▼50kg級 大谷健輔（京都・網野高）=15位、▼55kg級 青木強（国士大）=7位、▼60kg級 矢野吉住（立命館大）=26位、▼66kg級 森川一樹（山梨学院大）=15位、▼74kg級 高谷惣亮（京都・網野高）=5位、▼84kg級 松本篤史（日体大）=5位、▼96kg級 亀井謙吾（日本文理大）=13位、▼120kg級=派遣なし

《男子グレコローマン》▼50kg級 梶雅晴（青山学院大）=計量失格、▼55kg級 富岡達也（日体大）=10位、▼60kg級 岡本佑士（拓大）=5位、▼66kg級 成瀬一彦（日体大）=9位、▼74kg級 上迫博仁（専大）=20位、▼84kg級 矢野将章（専大）=28位、▼96kg級 中谷月明（専大）=23位、▼120kg級 平川臣一（専大）=15位

《女子》▼44kg級 坂本友里恵（大東大）=12位、▼48kg級 三村冬子（京都・網野高）=2位、▼51kg級 清水愛（埼玉・埼玉栄高）=20位、▼55kg級 渡部悠香（日体大）=15位、▼59kg級 清水明子（自衛隊）=13位、▼63kg級 工藤佳代子（自衛隊）=13位、▼67kg級 平恵実（環太平洋大）=11位、▼72kg級 鈴木博恵（立命館大）=8位

◇世界選手権（9月17～23日、アゼルバイジャン・バクー）

《男子フリースタイル》▼55kg級 松永共広（ALSOK 総合警備保障）=26位、▼60kg級 湯元健一（日体大助手）=22位、▼66kg級 鈴木崇之（警視庁）=9位、▼74kg級 萱森浩輝（新潟・新潟県央工高教）=25位、▼84kg級 鈴木豊（自衛隊）=35位、▼96kg級 小平清貴（警視庁）=13位、▼120kg級 田中章仁（FEG）=19位

《男子グレコローマン》▼55kg級 豊田雅俊（警視庁）=16位、▼60kg級 笹本睦（ALSOK 総合警備保障）=2位、▼66kg級 飯室雅規（自衛隊）=27位、▼74kg級 鶴巻宰（自衛隊）=13位、▼84kg級 松本慎吾（一宮運輸）=30位、▼96kg級 加藤賢三（自衛隊）=5位、▼120kg級 新庄寛和（自衛隊）=23位

《女子》▼48kg級 伊調千春（ALSOK 総合警備保障）=優勝、▼51kg級 坂本日登美（自衛隊）=優勝、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK 総合警備保障）=優勝、▼59kg級 正田絢子（ジャパンビバレッジ）=7位、▼63kg級 伊調馨（ALSOK 総合警備保障）=優勝、▼67kg級 井上佳子（中京女大）=5位、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）=9位

◇サンキスト・オープン（10月27～28日、米国・アリゾナ州チャンドラー）

《男子フリースタイル》▼55kg級 助野真彦（桃山学院大）=三失、▼55kg級 水口

弘志（立命館大）＝二失、▼55kg 級 小関元道（天理大）＝四失、▼60kg 級 矢野吉住（立命館大）＝四失、▼66kg 級 増田和将（中京学院大）＝二失、▼66kg 級 竹本雄飛（立命館大）＝二失、▼74kg 級 鎌田学（中京学院大）＝三失、▼84kg 級 古家圭（立命館大）＝六失、▼84kg 級 東誠次（立命館大）＝五失、▼120kg 級 塩見力（帝塚山大）＝三失

《男子グレコローマン》▼55kg 級 日吉晶之（福岡大）＝四失、▼55kg 級 田口敏生（関西学院大）＝二失、▼60kg 級 木村将志（徳山大）＝6 位、▼60kg 級 富永翔太（南九州大）＝二失、▼66kg 級 藤永明宏（徳山大）＝四失、▼74kg 級 藤永真孝（徳山大）＝二失、▼74kg 級 吉岡宏高（広島・広島国際学院高教）＝二失、▼84kg 級 中西正樹（関西大）＝二失、▼96kg 級 原田大士（福岡大）＝二失

◇NYACオープン国際大会（11月17～18日、米国・ニューヨーク）

《男子フリースタイル》▼55kg 級 久古敏章（警視庁）＝11 位、▼60kg 級 谷和典（日大ク）＝優勝、▼74kg 級 長島和幸（クリナップ）＝9 位、▼120kg 級 西田耕一郎（福井県協会）＝7 位

《男子グレコローマン》▼60kg 級 武田佑基（山口県協会）＝3 位、▼66kg 級 藤村義（自衛隊）＝優勝、▼120kg 級 曾我部健（徳島県協会）＝7 位、▼120kg 級 中本将生（広島市中学講師）＝9 位

《女子》▼55kg 級 関根ゆう（自衛隊）＝7 位、▼63kg 級 工藤佳代子（自衛隊）＝7 位、▼67kg 級 佐野明日香（自衛隊）＝2 位

国内

◇明治乳業杯全日本選抜選手権予選会（3月25日、東京・国立スポーツ科学センター）

※出場資格のない選手の予選会で、各階級とも上位4選手が出場資格獲得（成績省略）

◇全国高校選抜大会（3月27～29日、新潟・新潟市体育館）

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（2年ぶり16回目）、[2] 秋田・秋田商、[3] 埼玉・花咲徳栄、岐阜・岐南工

《個人戦優勝者》▼50kg 級 水越智也（茨城・霞ヶ浦）、▼55kg 級 田中幸太郎（京都・八幡）、▼60kg 級 石田智嗣（京都・立命館宇治）、▼66kg 級 長尾明来士（大阪・近大付）、▼74kg 級 高谷惣亮（京都・網野）、▼84kg 級 山口剛（岐阜・中津商）、

▼96kg級 浅田真司（愛知・星城）、▼120kg級 増田拓也（千葉・佐倉南）

◇ジャパンビバレッジクイーンズカップ（4月14日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼48kg級 伊調千春（ALSOK 総合警備保障）、▼51kg級 柴田瑞穂（中京女大）、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK 総合警備保障）、▼59kg級 山名慧（中京女大）、▼63kg級 伊調馨（ALSOK 総合警備保障）、▼67kg級 新海真美（中京女大）、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）

◇JOC杯ジュニアオリンピック（4月21～22日、神奈川・横浜文化体育館）

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼50kg級 大谷健輔（京都・網野高）、▼55kg級 青木強（国士舘大）、▼60kg級 矢野吉住（立命館大）、▼66kg級 森川一樹（山梨学院大）、▼74kg級 高谷惣亮（京都・網野高）、▼84kg級 松本篤史（日体大）、▼96kg級 亀井謙吾（日本文理大）、▼120kg級 荒木田進謙（専大）

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼50kg級 梶雅晴（青山学院大）、▼55kg級 富岡達也（日体大）、▼60kg級 岡本佑士（拓大）、▼66kg級 成瀬一彦（日体大）、▼74kg級 井上智裕（日体大）、▼84kg級 矢野将章（専大）、▼96kg級 中谷月明（専大）、▼120kg級 平川臣一（専大）

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 朝比奈健人（千葉・野田一中）、▼46kg級 森下史崇（茨城・霞ヶ浦高）、▼50kg級 山内拓真（青森・光星学院高）、▼54kg級 小石原拓馬（京都・網野高）、▼58kg級 田中幸太郎（京都・八幡高）、▼63kg級 有島義弘（鹿児島・樟南高）、▼69kg級 嶋田裕大（青森・青森商高）、▼76kg級 高杉遼介（新潟・新潟県央工高）、▼85kg級 亀井竜昇（大分・日本文理大付高）、▼100kg級 山本竜司（静岡・飛龍高）

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼42kg級 橋本幸太郎（山梨・北杜高）、▼46kg級 石井伴直（静岡・稲取高）、▼50kg級 小千田星真（新潟・白根高）、▼54kg級 川村悠人（奈良・大和広陵高）、▼58kg級 井上貴尋（兵庫・育英高）、▼63kg級 佐藤保孝（静岡・焼津水産高）、▼69kg級 音泉秀幸（香川・多度津工高）、▼76kg級 小森大祐（福岡・北九州高）、▼85kg級 敦賀屋大一郎（秋田・明桜高）、▼100kg級 金沢勝利（岩手・種市高）

《女子ジュニア優勝者》▼44kg級 坂本友里恵（大東大）、▼48kg級 三村冬子（京都・網野高）、▼51kg級 清水愛（埼玉・埼玉栄高）、▼55kg級 渡部悠香（日体大）、▼59kg級 清水明子（自衛隊）、▼63kg級 工藤佳代子（自衛隊）、▼67kg級 平恵実

(環太平洋大)、▼72kg級 鈴木博恵 (立命館大)

《女子カデット優勝者》▼38kg級 阿部千波 (水戸市少年団)、▼40kg級 植野さくら (京都・網野高)、▼43kg級 長沼美香 (岐阜・岐阜工高)、▼46kg級 明尾弥紀 (京都・網野高)、▼49kg級 堀内優 (京都・網野高)、▼52kg級 鈴木綾乃 (東京・安部学院高)、▼56kg級 伊藤友莉香 (京都・網野高)、▼60kg級 佐藤文香 (愛知・至学館高)、▼65kg級 歌田圭純 (東京・安部学院高)、▼70kg級 飯島千晶 (東京・安部学院高)

◇西日本学生春季リーグ戦 (5月12～13日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場)

《順位》[1] 立命館大 (3季ぶり12度目)、[2] 徳山大、[3] 日本文理大、[4] 近大、[5] 同志社大、[6] 福岡大、[7] 中京学院大、[8] 天理大

◇東日本学生リーグ戦 (5月10～11・17～18日、東京・駒沢体育館) =決勝成績

日体大○ [5-2] ●日大

(A組順位) [1] 日体大、[2] 山梨学院大、[3] 早大、[4] 国士大、[5] 東洋大、[6] 神奈川大、[7] 大東大、[8] 東農大

(B組順位) [1] 日大、[2] 拓大、[3] 専大、[4] 青山学院大、[5] 明大、[6] 中大、[7] 群馬大、[8] 法大

※日体大は2年連続25度目の優勝

◇明治乳業杯全日本選抜選手権 (6月9～10日、東京・代々木競技場第2体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 松永共広 (ALSOK 総合警備保障)、▼60kg級 大沢茂樹 (山梨学院大)、▼66kg級 鈴木崇之 (警視庁)、▼74kg級 萱森浩輝 (新潟・新潟県央工高教)、▼84kg級 鈴木豊 (自衛隊)、▼96kg級 小平清貴 (警視庁)、▼120kg級 田中章仁 (FEG)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 豊田雅俊 (警視庁)、▼60kg級 笹本睦 (ALSOK 総合警備保障)、▼66kg級 飯室雅規 (自衛隊)、▼74kg級 鶴巻宰 (自衛隊)、▼84kg級 松本慎吾 (一宮運輸)、▼96kg級 加藤賢三 (自衛隊)、▼120kg級 新庄寛和 (自衛隊)

《世界選手権代表決定プレーオフ勝者》▼男子フリースタイル 60kg級 湯元健一 (日体大助)、▼同 66kg級 鈴木崇之 (警視庁)、▼同 74kg級 萱森浩輝 (新潟・新潟県央工高教)、▼男子グレコローマン 鶴巻宰 (自衛隊)

◇女子世界選手権代表決定プレーオフ（6月10日、東京・代々木競技場第2体育館）

《勝者》▼51kg 級 坂本日登美（自衛隊）、▼59kg 級 正田絢子（ジャパンビバレッジ）、▼67kg 級 井上佳子（中京女大）

◇東日本学生春季新人選手権（6月13～15日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 藤元洋平（早大）、▼60kg 級 小田裕之（国士舘大）、▼66kg 級 志土地翔太（日体大）、▼74kg 級 小西隼人（大東大）、▼84kg 級 松本篤史（日体大）、▼96kg 級 藤本健治（拓大）、▼120kg 級 相沢優人（日大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 富岡達也（日体大）、▼60kg 級 渡辺翔太（日体大）、▼66kg 級 井上智裕（日体大）、▼74kg 級 沢田茂康（東洋大）、▼84kg 級 奥村一生（拓大）、▼96kg 級 渡辺瑞基（山梨学院大）、▼120kg 級 河野隆太（青山学院大）

◇全国中学生選手権（6月22～23日、茨城・茨城県スポーツセンター）

《男子優勝者》▼38kg 級 太田忍（青森・倉石）、▼42kg 級 杉山雄介（静岡・三島南）、▼47kg 級 鴨居正和（香川・紫雲）、▼53kg 級 高橋侑希（三重・正和）、▼59kg 級 嶋田大育（青森・戸山）、▼66kg 級 坂本悠太（茨城・土浦六）、▼73kg 級 木村政貴（群馬・千代田）、▼85kg 級 永井健太（千葉・山王）、▼110kg 級 松野裕也（岐阜・羽島）

《女子優勝者》▼37kg 級 宮原優（富山・高陵）、▼41kg 級 阿部千波（茨城・水戸二）、▼46kg 級 入江ゆき（福岡・横代）、▼52kg 級 浜田千穂（神奈川・川崎橘）、▼58kg 級 菅原ひかり（三重・一志）、▼64kg 級 飯田恵理（千葉・木間ヶ瀬）、▼70kg 級 立野千秋（茨城・竹来）

◇西日本学生新人戦（7月7～8日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 田口敏生（関西学院大）、▼60kg 級 山口代悟（近大）、▼66kg 級 竹本雄飛（立命館大）、▼74kg 級 三浦佑介（日本文理大）、▼84kg 級 藤原康祐（同志社大）、▼96kg 級 亀井謙吾（日本文理大）、▼120kg 級 西木亨（徳山大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 浅田貴弘（天理大）、▼60kg 級 入江淳史（同志社大）、▼66kg 級 竹本雄飛（立命館大）、▼74kg 級 菊地心（同志社大）、▼84kg 級 境寛矢（徳山大）、▼96kg 級 脇本恭平（立命館大）、▼120kg 級 高山裕章（日本文理大）

◇全日本社会人選手権（7月7～8日、千葉・佐倉市民体育館）

《団体戦》▼男子実業団 総合警備保障、▼男子クラブ 警視庁、▼女子 自衛隊

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 久古敏明（警視庁）、▼60kg級 谷和典（日大クラブ）、▼66kg級 大館信也（自衛隊）、▼74kg級 長島和幸（クリナップ）、▼84kg級 小幡邦彦（総合警備保障）、▼96kg級 相沢純（東洋水産）、▼120kg級 西田耕一郎（福井県協会）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（焼津福一）、▼60kg級 武田祐基（山口県協会）、▼66kg級 下村博（自衛隊）、▼74kg級 藤村義（自衛隊）、▼84kg級 加納篤（加納建築）、▼96kg級 曾我部健（徳島県協会）、▼120kg級 沢田直樹（徳山大）

《女子優勝者》▼48kg級 本橋裕子（エスオペレーション）、▼51kg級 坂本真喜子（自衛隊）、▼55kg級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）、▼59kg級 関根ゆう（自衛隊）、▼63kg級 工藤佳代子（自衛隊）、▼67.4kg級＝出場なし、▼72kg級 佐野明日香（自衛隊）

◇ドン・キホーテ杯全日本ビーチ選手権（7月29日、東京・台場海浜公園）

《男子シニア優勝者》▼軽量級 大沢茂樹（山梨学院大）、▼中量級 松本篤史（フリー）、▼重量級 桜井紀宏（フリー）

《男子高校生優勝者》▼軽量級 遠藤将貴（宮城・東北学院）、▼中量級 後藤大祐（宮城・東北学院）、▼重量級 木村龍巳（群馬・大泉）

《男子中学生優勝者》▼軽量級 奥屋敷勇人（神奈川・横須賀ジュニア）、▼中量級 高橋伸弥（静岡・沼津ク）、▼重量級 山縣良嗣（神奈川・横須賀ジュニア）

《女子シニア優勝者》▼軽量級 甲斐友梨（K-POWERS）、▼中量級 松川絵里香（日大）

《女子高校生優勝者》▼軽量級 鈴木美織（東京・安部学院）、▼中量級 平野遥香（東京・安部学院）、▼重量級 津田香耶（東京・安部学院）

《女子中学生優勝者》▼軽量級 浜田千穂（東京・ゴールドキッズ）、▼中量級 佐藤喜歌（静岡・焼津クラブ）

◇インターハイ（8月2～5日、佐賀・佐賀市諸富体育館）

《学校対抗戦》[1] 秋田・秋田商（2年連続3度目）、[2] 茨城・霞ヶ浦、[3] 佐賀・鹿島実、岐阜・岐南工

《個人戦優勝者》▼50kg 級 水越智也（茨城・霞ヶ浦）、▼55kg 級 田中幸太郎（京都・京都八幡）、▼60kg 級 石田智嗣（京都・立命館宇治）、▼66kg 級 富塚拓也（群馬・関東学園）、▼74kg 級 高谷惣亮（京都・網野）、▼84kg 級 山口剛（岐阜・中津商）、▼96kg 級 浅田真司（愛知・星城）、▼120kg 級 森内翔馬（茨城・霞ヶ浦）

◇全国高校生女子選手権（8月17日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《優勝者》▼40kg 級 多田妃歩（宮崎・福島）、▼43kg 級 藤川千晶（埼玉・埼玉栄）、▼46kg 級 野中千尋（埼玉・埼玉栄）、▼50kg 級 三村冬子（京都・網野）、▼54kg 級 鈴木幸子（栃木・壬生）、▼58kg 級 伊藤友莉香（京都・網野）、▼63kg 級 渡利璃穂（愛知・至学館）、▼68kg 級 飯島千晶（東京・安部学院）、▼72kg 級 宇野杏奈（三重・四日市四郷）

◇全国高校生グレコローマン選手権（8月17～19日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《優勝者》▼50kg 級 中野智章（静岡・焼津中央）、▼55kg 級 小俣涼平（茨城・霞ヶ浦）、▼60kg 級 石田智嗣（京都・立命館宇治）、▼66kg 級 富塚拓也（群馬・関東学園大付）、▼74kg 級 福長大寿（大分・日本文理大付）、▼84kg 級 山口剛（岐阜・中津商）、▼96kg 級 有菌拓真（兵庫・育英）、▼120kg 級 増田拓也（千葉・佐倉南）

◇全日本学生選手権（8月21～24日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 稲葉泰弘（専大）、▼60kg 級 高塚紀行（日大）、▼66kg 級 米満達弘（拓大）、▼74kg 級 工藤豪己（日大）、▼84kg 級 門間順輝（日体大）、▼96kg 級 斉川哲克（日体大）、▼120kg 級 中村淳志（拓大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 峯村亮（神奈川大）、▼60kg 級 松本隆太郎（日体大）、▼66kg 級 藤本浩平（拓大）、▼74kg 級 田中悠一（日体大）、▼84kg 級 斉川哲克（日体大）、▼96kg 級 北村克哉（専大）、▼120kg 級 ボリス・ムジコフ（山梨学院大）

《女子優勝者》▼48kg 級 河村友海（中京女大）、▼51kg 級 栄友菜（中京女大）、▼55kg 級 柴田瑞穂（中京女大）、▼59kg 級 中田絵理子（早大）、▼63kg 級 山名慧（中京女大）、▼67kg 級 新海真美（中京女大）、▼72kg 級 田中希枝（中京女大）

◇全日本学生王座決定戦（9月21日、東京・駒沢体育館）＝決勝成績

日体大○ [6-1] ●早大

※日体大は5年ぶり24度目の優勝

◇西日本学生選手権（9月21～23日、大阪・堺市立金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 長尾武沙士（近大）、▼60kg級 入江淳史（同志社大）、▼66kg級 藤永明宏（徳山大）、▼74kg級 藤村勇喜（徳山大）、▼84kg級 古家圭（立命館大）、▼96kg級 東誠次（立命館大）、▼120kg級 高林努（日本文理大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 加藤貴裕（中京学院大）、▼60kg級 木村将志（徳山大）、▼66kg級 松本大輝（徳山大）、▼74kg級 藤永真孝（徳山大）、▼84kg級 亀井謙吾（日本文理大）、▼96kg級 茄子野陽介（桃山学院大）、▼120kg級 高林努（日本文理大）

◇国民体育大会（10月5～8日、秋田・秋田周辺広域市町村圏五城目体育館）

《成年フリースタイル優勝者》▼55kg級 稲葉泰弘（茨城・専大）、▼60kg級 大館信也（埼玉・自衛隊）、▼66kg級 藤本浩平（静岡・拓大）、▼74kg級 高橋龍太（埼玉・自衛隊）、▼84kg級 小幡邦彦（山梨・総合警備保障）、▼96kg級 横山秀和（秋田・秋田商高教）、▼120kg級 吉田清太郎（秋田・秋田市役所）

《成年グレコローマン優勝者》▼55kg級 村田知也（三重・久居高教）、▼60kg級 松本隆太郎（群馬・日体大）、▼66kg級 笹本睦（神奈川・総合警備保障）、▼74kg級 岩崎裕樹（静岡・銀水荘）、▼84kg級 太田充洋（大分・津久見高教）、▼96kg級 斎川哲克（栃木・日体大）、▼120kg級 沢田直樹（山口・山口県協会）

《少年フリースタイル優勝者》▼50kg級 山内拓真（青森・光星学院）、▼55kg級 田中幸太郎（京都・京都八幡）、▼60kg級 石田智嗣（京都・立命館宇治）、▼66kg級 生天目達也（茨城・霞ヶ浦）、▼74kg級 高谷惣亮（京都・網野）、▼84kg級 山口剛（岐阜・中津商）、▼96kg級 金沢勝利（岩手・種市）、▼120kg級 森内翔馬（茨城・霞ヶ浦）

《少年グレコローマン優勝者》▼50kg級 中野智章（静岡・焼津中央）、▼55kg級 小俣涼平（茨城・霞ヶ浦）、▼60kg級 井上貴尋（兵庫・育英）、▼66kg級 富塚拓也（群馬・関東学園）、▼74kg級 福長大寿（大分・日本文理大付）、▼84kg級 柳瀬貴之（兵庫・神戸高塚）、▼96kg級 有菌拓真（兵庫・育英）、▼120kg級 増田拓也（千葉・佐

倉南)

◇全日本女子オープン選手権 (10月14日、静岡・東伊豆町立体育センター)

《優勝者》▼48kg級 内田奈美(東洋大)、▼51kg級 渡辺菜穂(ゴールドキッズ)、▼55kg級 渡部悠香(日体大)、▼59kg級 中田絵理子(早大)、▼63kg級 高橋海里奈(早大)、▼67kg級 佐野明日香(自衛隊)、▼72kg級 金沢春花(環太平洋大)

◇全日本大学グレコローマン選手権 (10月18~19日、東京・駒沢体育館)

《優勝者》▼55kg級 峯村亮(神奈川大)、▼60kg級 倉本一真(山梨学院大)、▼66kg級 板倉史也(青山学院大)、▼74kg級 伊藤啓太(拓大)、▼84kg級 那口裕洋(日体大)、▼96kg級 斉川哲克(日体大)、▼120kg級 北村克哉(専大)

《大学対抗得点》[1] 日体大(3年ぶり13度目)、[2] 拓大、[3] 山梨学院大

◇全日本大学選手権 (11月8~9日、岐阜・中津川市東美濃ふれあいセンター)

《優勝者》▼55kg級 稲葉泰弘(専大)、▼60kg級 大沢茂樹(山梨学院大)、▼66kg級 藤本浩平(拓大)、▼74kg級 大月葵斐(早大)、▼84kg級 伊藤啓太(拓大)、▼96kg級 斉川哲克(日体大)、▼120kg級 中村淳志(拓大)

《大学対抗得点》[1] 拓大(2年連続2度目)、[2] 日体大、[3] 山梨学院大

◇東日本学生秋季新人選手権 (11月21~22日、東京・駒沢体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 猪俣大志(日体大)、▼60kg級 前田翔吾(日体大)、▼66kg級 中村達也(中大)、▼74kg級 森川一樹(山梨学院大)、▼84kg級 鈴木聖二(専大)、▼96kg級 松本篤史(日体大)、▼120kg級 田中譲治(大東大)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 田中秀樹(拓大)、▼60kg級 横山巧(日体大)、▼66kg級 岡本佑士(拓大)、▼74kg級 井上智弘(日体大)、▼84kg級 松本篤史(日体大)、▼96kg級 杉平大輔(国士舘大)、▼120kg級 平川臣一(専大)

◇全国社会人オープン選手権 (11月23~24日、東京・スポーツ会館)

《男子フリースタイル》▼55kg級 渡辺大(自衛隊)、▼60kg級 大津卓睦(スタートグループ)、▼66kg級 山本英典(自衛隊)、▼74kg級 萱森浩輝(新潟・新潟県央工高教)、▼84kg級 渋江悠介(松戸特別支援学校教)、▼96kg級 小林永敏(いなベク)、▼120kg級 幸野亨(静岡ク)

《男子グレコローマン》▼55kg級 谷岡泰幸(自衛隊)、▼60kg級 堀弘輔(自衛隊)、▼66kg級 西田哲人(川内自衛隊)、▼74kg級 藤山慎平(日体大大学院)、▼84kg級 太田充洋(大分・津久見高教)、▼96kg級 渡辺直人(和術慧舟会 Tiger Plas)、▼120kg級 新庄寛和(自衛隊)

《女子》▼48kg級 西のどか(早大)、▼51kg級 桜井宏美(代々木クラブ)、▼55kg級 平田幸子(法大)、▼59kg級 小川由香里(環太平洋大)、▼63kg級 高橋海里奈(早大) ▼67kg級=出場なし、▼72kg級 金沢春花(環太平洋大)、

◇西日本学生秋季リーグ戦(11月24~25日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場)

《順位》[1] 立命館大(2季連続13度目)、[2] 徳山大、[3] 中京学院大、[4] 同志社大、[5] 日本文理大、[6] 近大、[7] 関大、[8] 福岡大

◇全日本選手権(12月21~23日、東京・代々木競技場第2体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 松永共広(ALSOK 総合警備保障)、▼60kg級 高塚紀行(日大)、▼66kg級 池松和彦(K-POWERS)、▼74kg級 長島和彦(クリナップ)、▼84kg級 鈴木豊(自衛隊)、▼96kg級 小平清貴(警視庁)、▼120kg級 田中章仁(FEG)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平(福一漁業)、▼60kg級 笹本睦(ALSOK 総合警備保障)、▼66kg級 飯室雅規(自衛隊)、▼74kg級 岩崎裕樹(銀水荘)、▼84kg級 松本慎吾(一宮運輸)、▼96kg級 加藤賢三(自衛隊)、▼120kg級 新庄寛和(自衛隊)

《女子優勝者》▼48kg級 伊調千春(ALSOK 総合警備保障)、▼51kg級 坂本日登美(自衛隊)、▼55kg級 吉田沙保里(ALSOK 総合警備保障)、▼59kg級 梶田瑞華(中京女大)、▼63kg級 伊調馨(ALSOK 総合警備保障)、▼67kg級 西牧未央(中京女大)、▼72kg級 浜口京子(ジャパンビバレッジ)